



「挨拶は人を笑顔にする魔法です」

20日（金）、富山市在住の今田貴士さんから右のレリーフを寄贈していただく式を行いました。このレリーフの原作者は、文化勲章受章者の榮譽に輝き、長崎「平和祈念像」の作者として世界的に名高い北村西望（きたむらせいぼう）氏で、作品名は「今日わ（は）」です。また、今田さんは長年、地域の社会活動や防犯活動に寄与してこられてきた方で、昭和54年の富山市立藤ノ木小学校に始まり、たくさんの小中学校、その他教育施設にレリーフの寄贈をしてこられました。そして、本校に寄贈していただいたレリーフが、記念すべき100枚目に当たるそうです。



『今日わ（は）』57 cm × 49 cm

見出しの「挨拶は人を笑顔にする魔法です」は、今田さんがお話になられた言葉です。「大きな声で挨拶をしてほしい」と挨拶の大切さを主に語られました。その他にも、「命は尊いものである」「子供は宝である」「人は一人では生きていない。いろいろな人に支えられている」など、子供たちの印象に残ることをたくさん話されました。

このレリーフは、玄関か、図書室等、子供たちの目に付くところに展示したいと考えています。子供たちには、このレリーフを目にするたびに、挨拶の大切さ、そして、今田さんの気持ちを思い出してほしいと願っています。



さて、挨拶と言えば、こんなうれしいことがありました。4月の中旬だったでしょうか。地域の女性の方から匿名の電話がかかってきました。「**呉羽山を歩いていたら、小学生の団体が、とても気持ちのよい挨拶をしてくれました。「どこの小学校ですか？」と聞いたら、「附属小学校です！」と答えてくれました。身なりもきちんとしているし、さすが附属小学校の子供ですね**」と。その日、呉羽山へ校外学習に行っていたのは、5年生だ

ったでしょうか。

日ごろは、匿名の電話がかかってくると「ドキッ！」としますが、この日は、教官室一同、たいへんうれしい気持ちになりました。今田さんがおっしゃった「挨拶は人を笑顔にする魔法です」は、やはり本当だと思います。

前期児童会役員任命式、第1回なかま活動

同20日（金）、前期児童会役員任命式を行い、校長先生から各委員会の委員長と各学級の学級代表に任命証が授与されました。その後、委員長と学級代表が、全校児童の前で、一人ずつ力強く抱負を述べていきました。

これから半年間、委員会活動と学級活動において、しっかりと学校生活を支えていってほしいと願っています。



任命証をもらう子供たち

任命式の後、縦割り班によるなかま活動が始まりました。活動場所へ移動し、自己紹介をした後、仲良くお弁当を食べていました。その後は、一緒に楽しく遊び、縦割り清掃もこの日からスタートとなりました。この縦割り班のなかまとは、清掃活動だけではなく、業間運動の「8の字跳び」等の活動を共にします。



縦割り清掃の約束は「さ・し・す・せ・そ」

そこで問われるのが、高学年の子供のリーダーとしての資質です。自己主張の強い本校の子供たちをまとめていくのは容易なことではありません。これから運動会や秋を楽しむ体験学習等、いくつもの活動の中で、小さい子供が言うことを聞いてくれなかったり、班員の中で意見が合わなかったりして、挫折することがあるかもしれません。これらの試練を乗り越えて、真のリーダーに成長してくれることを願っています。

養護教諭教育実習始まる

本校の卒業生である赤祖父映里さんが23日（月）から、養護教諭を目指して教育実習にきています。5月16日（水）までの15日間ですが、子供たちの健康管理のお手伝いをしてくれますので、よろしくお願いします。

1年生の教室にて→



（副校長 曲 師 政 隆）